

## 第 17 防災防火対象物、防災物品

### 1 防災防火対象物

#### (1) 防災規制を受ける防火対象物の部分等 ◆

法第8条の3、政令第4条の3で防災規制を受ける防火対象物には、次の部分等も含むものとする。

ア 防災防火対象物の屋上部分及び防災防火対象物のポーチ、バルコニー等の外気に開放された部分

イ 防災規制を受ける用途と受けない用途で構成される複合用途防火対象物で、防災防火対象物の用途に供する廊下、階段等の共用部分

ウ 高層建築物で、その一部が政令第8条に規定する耐火構造の壁及び床で区画された防災防火対象物の用途以外の部分

エ 工事中のサイロ、危険物の貯蔵タンク、ガス貯蔵タンク等

※ 当該対象物は、省令第4条の3第1項第3号に規定する貯蔵槽に該当する。

#### (2) 次の防火対象物の部分には、防災物品を使用すること。

ア 地下街と一体をなす建築物の地下で、防災防火対象物以外の用途部分

イ 防災防火対象物以外の防火対象物で、舞台を有し、短期的に映画、劇場等の催しに使用される部分

ウ 防災防火対象物以外の防火対象物で、短期的に物品販売、展示等に利用される不特定多数の者を収容する当該部分

### 2 防災対象物品 ◆

#### (1) 法第8条の3第1項、政令第4条の3第3項の防災対象物品には次のものが含まれるものであること。

ア 仕切りに用いられる布製のアコーデオンドア、衝立て

イ 室内装飾のために壁に沿って下げられている布製のもの（衣類等を除く）

ウ 布製ののれん、装飾幕、紅白幕等で、下げ丈がおおむね1 m以上のもの

エ 映写用スクリーン（劇場、映画館等で使用されるもの）

オ 展示会場で用いられる合板で、台、バックスクリーン、仕切用等に使用されるもの

カ 店舗部分で、商品の陳列棚としてではなく、天井から下げられた状態又はパネル等として使用される合板

キ 屋外の観覧席、通路等の部分に敷かれているじゅうたん等

ク 人工芝

ケ 試着室に使用される目隠し布

コ 昇降機（エレベーター）の床・壁の内面保護等のための敷物等（2 m<sup>2</sup>を超えるもの）

#### (2) 次の床敷物は、防災対象物品に含まれないものであること。

ア 大きさが2 m<sup>2</sup>以下のじゅうたん等

イ 接着剤等で床に貼られ、床と一体となっている合成樹脂製床シート及びプラスチックタイル

ウ 畳

- エ じゅうたん等の下敷にクッション材として使用されているアンダーレイ、アンダークッション、アンダーフェルト等
- オ 屋外の観覧場のグラウンド、フィールド等に敷かれているじゅうたん等
- カ プラスチック製ブラインド、木製ブラインド
- キ 外壁に沿って垂れ下がっている広告幕
- ク 独立したさお等に掲げる旗

(3) 次の物品は防災性能を有している防災物品として取り扱うものであること。  
不燃材料、準不燃材料及び難燃材料に該当するもの

### 3 防災表示 ◆

#### (1) 防災表示

##### ア 様式

法第8条の3第2項に定める表示は、省令第4条の4第1項第2号の様式により、防災物品に表示すると定められているが、防災表示を適正に行うため、別表の表示（防災ラベル）が付されるものであること。 ◆

##### イ 表示の方法

(ア) 省令第4条の4第1項第3号に定める縫付、ちょう付、下げ札等の表示方法は、第17-1表の表示方法によるものとする。

第17-1表

表示方法 防災物品の種類		縫 付	ちょう付	下げ札	その他
カーテン、暗幕、その他 これらに類する幕	耐洗たく性能を 有するもの	○			
	耐洗たく性能を 有しないもの		○		
じゅうたん等		○	○		○
布製ブラインド及びその材料		○	○		
合板			○		○
どん帳その他これらに類する幕		○	○		
工事用シート及びその材料		○			○
防災対象物品（合板、工事用シート及び布製ブラインドを除く。）の材料			○	○	

(注) 表中「その他」には、スタンプ、印刷、刻印、打ち付け、溶着等があること。

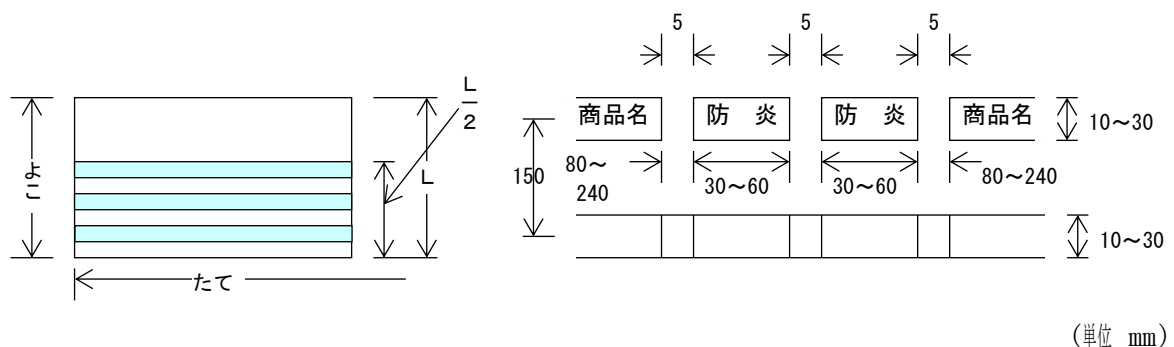
※ 施工されたじゅうたん等（床に固定されたもの）にあつては、防災ラベルをメタル等で、次によりその表面に打ち付けるものであること。

① 室内に固定又は敷きつめられたじゅうたん等に防災ラベルを付する場合にあつては、各室ごとに次により主要な出入口部分に防災ラベルを打ち付けるものであること。

㊦ 主要な出入口に打ち付けるメタルの位置は、とびら等の蝶番側とする

こと。なお、両開き扉、引戸、シャッター等の場合は、廊下側から見て右方の位置とすること。

- ④ 1室に2種類以上のじゅうたん等が敷きつめられた場合の表示位置は、じゅうたん等の種類ごととし、主要な出入口側に近い位置とすること。
  - ⑤ ホール、玄関等の表示位置は、原則として建物の主要な出入口側から見て右方の位置とすること。
  - ② 廊下に固定し、又は敷きつめられたじゅうたん等に防災ラベルを付す場合にあっては、次によること。
    - ⑦ じゅうたん等が連続している範囲に1個以上の防災ラベルを打ち付けるものであること。したがって、廊下に固定し、又は敷かれたじゅうたん等が、防火区画等によって分離されている場合にあっては、各部分ごとに防災ラベルを打ち付けるものであること。
    - ⑧ 防災ラベルを打ち付ける位置は、防火対象物の各階に共通して、同方角の端部とすること。
  - ③ 階段に固定し、又は敷かれたじゅうたん等に防災ラベルを付す場合にあっては、各階ごと（各階の階段踊場の位置）に1個以上の防災ラベルを打ち付けるものであること。（各階連続したものについても同じ。）
- (イ) 展示用の合板及び大道具用の合板の使用上の特異性及び使用上の実態からみて、表面にちょう付するラベル表示のみでは不十分なため裏面に第17-1図の表示を行うものであること。



- ※ ① 「防災」の文字は、省令別表第1の2の2の様式によること。
- ② 文字の色は、「赤色」とする。
- ③ 裏面の形状が平滑でないもの（例えばハードボード類）に限って幅1 cmの赤色の線に変えることができる。

第17-1図

(2) 指定表示


法第8条の3第3項、省令第4条の4第8項に基づき消防庁長官が指定した表示は、次によること。

ア 表示内容は、第17-2表によること。

なお、合板の表示については、合板の日本農林規格（平成15年農林水産省告示第233号）の改正により難燃処理及び防災処理の規定が削除されたことに伴い、規則第4条の4第8項の指定表示の指定（平成17年4月28日消防庁告示第5号）が廃止されたため、平成26年5月26日までに付された表示のみ有効とする。

第17-2表

種類		内容（様式）									
合板	普通合板	<div><p>合板の日本農林規格（平成20年農林水産省告示第1751号）により格付けされた合板に付される難燃処理又は防災処理を施した旨の表示（平成17年消防庁告示第5号）</p><div><table><tr><td>品名</td><td>「普通合板（難燃処理）」</td></tr><tr><td>寸法</td><td>●×●×●mm</td></tr><tr><td>ホルムアルデヒド放散量</td><td>「F☆☆☆☆」</td></tr><tr><td>製造者</td><td>●●合板株式会社工場</td></tr></table></div><ol style="list-style-type: none"><li>1 Aは15mm以上とし、BはAの9/10とする。</li><li>2 CはAの2.6倍とし、DはAの3.4倍とする。</li><li>3 JASの文字の高さはAの3/10とし、認定機関名の文字の高さはAの9/50とし、その他の文字の高さはAの4/15とする。</li><li>4 外枠の線の太さはAの1/30とする。</li><li>5 類別は、1類又は2類の別を記載する。</li><li>6 等級は、表面の品質の等級を記載する。</li><li>7 認定機関名は略称を記載することができ</li></ol></div>	品名	「普通合板（難燃処理）」	寸法	●×●×●mm	ホルムアルデヒド放散量	「F☆☆☆☆」	製造者	●●合板株式会社工場	
	品名	「普通合板（難燃処理）」									
寸法	●×●×●mm										
ホルムアルデヒド放散量	「F☆☆☆☆」										
製造者	●●合板株式会社工場										
特殊加工化粧合板及び天然木化粧合板	<div><p>合板の日本農林規格（平成20年農林水産省告示第1751号）により格付けされた合板に付される難燃処理又は防災処理を施した旨の表示（平成17年消防庁告示第5号）</p><div><table><tr><td>品名</td><td>「普通合板（難燃処理）」</td></tr><tr><td>寸法</td><td>●×●×●mm</td></tr><tr><td>ホルムアルデヒド放散量</td><td>「F☆☆☆☆」</td></tr><tr><td>製造者</td><td>●●合板株式会社工場</td></tr></table></div><ol style="list-style-type: none"><li>1 Aは15mm以上とし、BはAの13/15とする。</li><li>2 CはAの2倍とし、線の太さは1の1/2とする。</li><li>3 JASの文字の高さはAの4/15とする。</li><li>4 種類は、天然木化粧合板又は特殊加工化粧合板</li><li>5 類別は、1類又は2類の別を記載する。</li><li>6 タイプ別は、特殊加工化粧合板に限り F, FW, W又はSWの別を記載する。</li><li>7 認定機関名は略称を記載することができる。</li></ol></div>	品名	「普通合板（難燃処理）」	寸法	●×●×●mm	ホルムアルデヒド放散量	「F☆☆☆☆」	製造者	●●合板株式会社工場		
品名	「普通合板（難燃処理）」										
寸法	●×●×●mm										
ホルムアルデヒド放散量	「F☆☆☆☆」										
製造者	●●合板株式会社工場										
じゅうたん	織りじゅうたん	<div><p>JIS L 4404 に適合する織りじゅうたんであって防災対象物品の材料に使用されるものに付される産業標準化法第30条第1項の表示（JIS L 4404の難燃性の表示がされたものに限る。）（平成28年消防庁告示第20号）</p><div><p>難燃</p></div><ol style="list-style-type: none"><li>1 文字は、左図のとおりJIS マークと一体とする</li><li>2 文字の大きさは、JIS Z 8305 の3.（大きさ）に規定する16ポイント以上の大きさで、製品に直接表示する場合は黒色又は白色で証紙をつ</li></ol></div>									

じゆうたん	タフテッドカーペット	JIS L 4405 に適合するタフテッドカーペットであって防災対象物品の材料に使用されるものに付される産業標準化法第30条第1項の表示（JIS L 4405の難燃性の表示がされたものに限る。）（平成28年消防庁告示第20号）
		<p>1 文字は、左図のとおりJIS マークと一体とする</p> <p>2 文字の大きさは、JIS Z 8305 の3.（大きさ）に規定する16ポイント以上の大きさと、製品に直接表示する場合は黒色又は白色で証紙をつけ、又は荷札をつける場合は黒色で印刷する。</p>
	タイルカーペット	JIS L 4406に適合するタイルカーペットであって防災対象物品の材料に使用されるものに付される産業標準化法第30条第1項の表示（JIS L 4406の難燃性の表示がされたものに限る。）（平成28年消防庁告示第20号）
		<p>1 文字は、左図のとおりJIS マークと一体とする</p> <p>2 文字の大きさは、JIS Z 8305 の3.（大きさ）に規定する16ポイント以上の大きさと、直接表示する場合は黒色又は白色で証紙をつけ、又は荷札をつける場合は黒色で印刷する。</p>
	ビニル系床材	JIS A 5705に適合するビニル系床材（置敷きビニル床タイル及び薄型置敷きビニル床タイルに限る。）であって防災対象物品の材料に使用されるものに付される産業標準化法第30条第1項の表示（平成28年消防庁告示第20号）
		 及び この包又は包装に「難燃」の文字を表示

#### イ 表示方法

合板の表示方法は格付けの都度、板又は梱包ごとに見やすい箇所にちょう付又は押印する。

#### (3) 関係者の行う明示

省令第4条の4第9項に定める関係者の行う「防災処理品」又は「防災作製品」の明示（以下「関係者明示」という。）の方法等は次によること。

ア カーテン等を関係者自ら作製する場合は、防災性能を有する旨の表示（3.（1）防災表示（原反下げ札等）が付されているもの又は4（1）から（3）により防災処理したものを使用すること。

イ 防災防火対象物の関係者自ら防災処理を行う場合は、「消防法施行規則第4条の4第4項及び第4条の5第2項の規定に基づき、防災表示を付するものの登録の基準及び登録確認期間に申込みをしたことを証する書類をもって代えることができる添付書類を定める件」（平成12年消防庁告示第9号）に定める防災処理を行うための設備器具を有するものであること。

ウ 関係者明示事項の大きさは、縦25mm、横50mm以上とし、明示方法は(1)イ(ア)の方法など適宜の方法によること。

エ 明示事項の記入文字は、簡単に変色又は消失しないものであること。

#### (4) 防災表示者認定番号

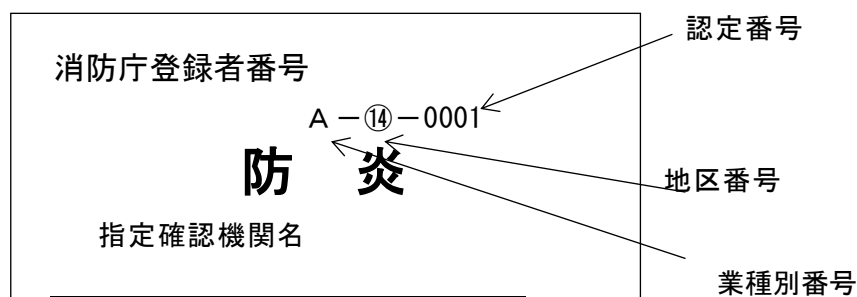
省令第4条の4第1項第1号に規定する消防庁長官の認定を受けた者に対する認定番号及び記号は、第17-3表の業種別欄に掲げる業種に従い、同右欄によるものであること。(表示例参照)

第17-3表

業 種 別	認定番号		
	業種別 区分	地区 番号	認定 番号
製造業者（生地、その他の材料を製造するもの）	A	⑭	0001
製造業者・防災処理業者（合板の製造業者、防災処理業者）	B	⑭	〃
防災処理業者（防災物品又はその他の材料に防災性能を与えるための処理をする者）	C	⑭	〃
防災処理業者（吹付により防災性能を与えるもの）	D	⑭	〃
裁断・施工・縫製業者	E	⑭	〃
輸入販売業者	F	⑭	〃

【表示例】

①  
防災ラベル



地区番号は、北海道(1)から沖縄県(47)まで、都道府県ごとに区分されている。なお、神奈川県については(14)である。

#### 4 防災処理 ◆

##### (1) カーテン等の防災処理

防災処理業者又は関係者等の行う防災処理は、次によること。

ア 防災処理薬剤は、防災薬剤の防災性能試験に合格したものをを使用すること。

イ 防災処理を施す場合は、適正な防災性能が得られるよう事前に繊維の識別を慎重に行うこと。

ウ 次の組成繊維は、通常の浸漬法では防災薬剤が十分付着しないことが多いので、防災処理の対象から除外するものであること。ただし、次のアからウまでの組成



繊維の混用率の合計が 20%以下である場合（(エ)を含むものを除く。）及びポリエステル系合成繊維 100%で組成されている場合（顔料プリント品を除く。）については、この限りでない。

(ア) アクリル（ポリアクリルニトリル系合成繊維のうち一般にアクリル系と称されるものを除くもので、アクリルニトリルの重量割合が 50%以上のもの）

(イ) アセテート繊維

(ウ) ポリエステル系合成繊維

(エ) ポリプロピレン系合成繊維

(2) じゅうたん等の後処理加工による防災処理

スプレー等により防災薬剤を吹きつける方法は、じゅうたん等の表面に薬剤が付着しているにすぎないため、後処理加工は認められない。

(3) 吹付による防災処理

どん帳、幕類等でおおむね 20 m<sup>2</sup>以上のものは、防災薬剤を吹きつけることにより防災加工できるものであること。

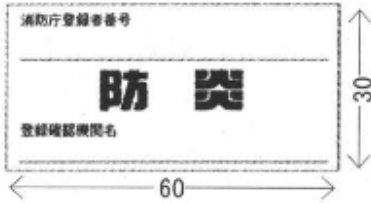


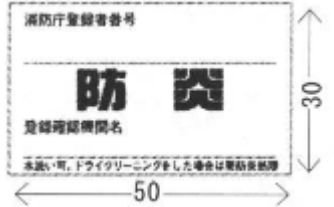
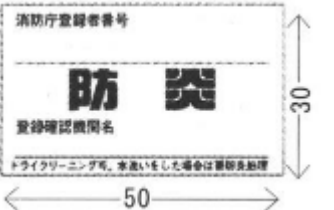

## 5 防災性能の確認 ◆

防災性能の確認は、次によること。

(1) 防災ラベル、指定表示又は関係者明示が付されたものは、原則として防災性能を有するものであること。

(2) (1) の表示が無い物品又は防災性能に疑問が生じた物品については、省令第 4 条の 3 に定める性能試験により防災性能の確認を行うものであること。

別表 防災ラベルの様式

防災物品の種類 材料ラベルの様式			物品ラベルの様式
1 布製のブラインド、展示用の合板、どん帳その他これに類する舞台において使用する幕、舞台において使用する大道具の合板及び工事用シート並びにこれらの材料			
2 じゅうたん等及びその材料			
3 1 及び 2 に掲げる防災物品以外の防災物品	イ 消防庁長官が定める防災性能に係る耐洗濯性能の基準に適合するもの	(1) 水洗い洗濯及びドライクリーニングについて基準に適合するもの	
		(2) 水洗い洗濯について基準に適合するもの	
		(3) ドライクリーニングについて基準に適合するもの	
	ロ イに掲げるものの以外のもの		



備考

- 1 防災ラベル等の様式の欄の数字の単位は mm とする。
- 2 様式の色彩は、地を白色、文字のうち「防災」にあつては赤色、「消防庁登録者番号」及び「指定確認機関名」にあつては黒色。その他のものにあつては緑色、横線を黒色とする。
- 3 指定確認機関の確認を受けていない場合又は指定確認機関の確認を受けたが当該指定確認機関の名称を記載しない場合は、「指定確認機関名」に代えて「防災性能について自己確認した者の名称」とする。